

# ディベートに親しめる交流機会の場

場数を踏めば、ログス・パトス・エトスの調和がとれた言論の知を磨けます。

## 関西ディベート交流協会

### 〔KDLA〕の概要

関西ディベート交流協会は、1990年に岡野勝志を代表として発足した、大学生・社会人向けのディベートの活動・普及組織です。

KDLAの名称は“Kansai Debate League Association”に由来します。その名の通り、ディベートリーグによって大勢の方々にディベートの試合を経験していただくのが設立の趣旨です。

1997年に岡野勝志が顧問となり、有志によって引き続きリーグ戦を開催する一方、他のディベート勉強会と連携してディベート普及活動を継続していました。しかし、ここ数年は目立った活動がなく、事実上の休会状態となっていました。

2011年度から内容を一新して活動を再開することになりました。その第一歩が、第2回防災・社会貢献ディベート大会への審査指導協力です。総勢21名の審査員がKDLAから参加しています。

現在は、岡野勝志を顧問(暫定代表)としてメンバーを募っています。有志による任意団体のため、会費と協賛金によって運営していく方針です。3月中に活動の中核となる事務局・運営委員会など組織づくりをおこない、4月末をめぐりに活動概要をまとめて公表します。

今年度については入会金不要で、活動ごとの参加費用のみです。ディベートを勉強してみたいという方は、ぜひKDLAのサポーターとしてご登録ください。正規の会員情報についてはサポーターの方々にご連絡します。

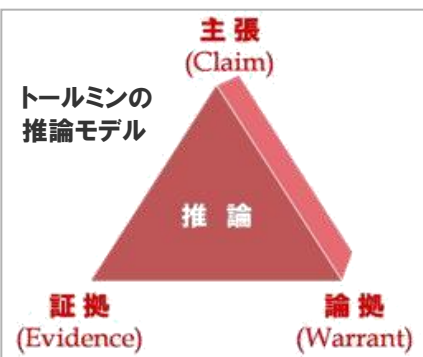
#### 〔ご注意〕

インターネット上で「関西ディベート交流協会」で検索すると、数年以上経過した活動紹介や古い記事が出てきます。また、古い連絡先なども記載されています。

今後は、2011年2月以降の更新情報のみを正規のものとお考えください。

## 今後の活動内容(予定)

1. 夏季と冬季の年に2回、リーグ戦をおこないます。1人制の部と2人制の部で実施します。
2. レーティングまたは段級位制度によってディベート技術を評価・格付けします。
3. 常時参加できない方々のために、コーチ級の有志による勉強会とミニディベート練習会を各地区で実施します。
4. 公的なディベート大会を主催・後援・協賛します。コーチや審査員を派遣します。
5. 入門、初級、中級の3レベルの講座やセミナーを随時開催します。上級言論術やコーチ・審査員養成コースも予定しています。研究や出版活動にも取り組んでいきます。



## ▼岡野勝志からのメッセージ

プラトンが著した『プロタゴラス』の中で、ソクラテスがソフィストであるプロタゴラスに論争を挑む場面が出てきます。

ウェルマンの『反対尋問』では、反対尋問が、まるでドラマを見ているかのように、スリルとサスペンスに満ちた臨場感の中で繰り広げられます。

私がディベートに出会ってから40年。青年期に触れた本物の議論、とりわけ疑わしきことを徹底的に尋ねる姿勢に強い影響を受けました。

同時に、ディベートに比べて、われわれが御座りな議論をしていることにも気づきました。ろくに言論技術を磨きもせずに口先だけのやりとりばかり。力上位の人間が大声で恫喝して勝負あり。そこにフェアネスは不在です。

ディベートは論理一辺倒の論争術ではありません。時代のテーマに関心を寄せ、多様な視点から本質に迫る全脳型の知の技法です。肯定側・否定側というロールプレイ体験を通じて、見えなかった価値に気づくようになります。

主張するなら、証拠と論拠を示すという、左記のトールミンモデルに精通するだけでも、世界を見晴らす眺望点が変わってきます。

ログス(知)、パトス(情)、エトス(意)の三拍子が調和する理想のディベートを一緒に学んでいきましょう。

〔プロコンセプト研究所所長、KDLA顧問・暫定代表、岡野塾主宰〕

## ▼ 関西ディベート交流協会事務局

大阪市中央区釣鐘町1-1-1 大宗ビル5階

株式会社プロコンセプト研究所内

電話 06-6943-5644 FAX 06-6943-9344

メールで問い合わせ・サポーター登録 [kdla@proconcept.co.jp](mailto:kdla@proconcept.co.jp)

## ▼ ホームページ(またはブログ)

現在は岡野勝志顧問のブログ《Web講話岡野塾》内に暫定的に設けています。活動の拡充にともない、将来独立のホームページまたはブログを開設する予定です。当面の更新情報は

<http://www.proconcept.co.jp/okano-juku/kdla/>  
をご覧ください。